

会 議 録 (要旨)

会議の名称	第4回狛江市商業振興プラン策定委員会
開催日時	令和6年11月22日(金曜日) 午後4時00分から午後6時20分
開催場所	狛江市防災センター301会議室
出席者	<p>【委員9名】</p> <p>渡辺委員長、伊藤副委員長、白井委員、松崎委員、吉田委員、絹山委員、櫻井委員、村上委員、片岡委員</p> <p>【事務局4名】</p> <p>狛江市 市民生活部 地域活性課 矢野課長、五十嶺係長、小泉主事 株式会社シティ・プランニング 吉田</p>
欠席者	【1名】下平委員
会議資料	<p>◆資料1：各種調査結果の概要</p> <p>◆資料2：第4次基本構想・後期基本計画(案)</p> <p>◆資料3：(仮称)狛江市商業振興プラン2025策定のポイント</p> <p>◆資料4：基本方針・施策の検討シート</p> <p>◆資料5：地域別構想について</p> <p>◆資料6：参考資料</p>
議題	<p>(1) アンケート調査の結果について(基礎調査報告書のポイント)</p> <p>(2) 狛江市後期基本計画(案)について</p> <p>(3) (仮称)狛江市商業振興プラン2025の策定にむけて(案)</p> <p>(4) 新プランの地域別構想の方針について</p> <p>(5) スケジュールについて</p>

● 会議事項

(1) アンケート調査の結果について(基礎調査報告書のポイント)	
発言者	会 議 内 容
事務局	◆資料説明：【資料1】各種調査結果の概要
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1「各種調査結果の概要」に関して、商業者ヒアリング調査にご協力いただいた委員の方々から補足や意見はあるか。 ・行政に求めることとして、今後、多摩川住宅が出来ることに合わせ、周辺の再開発や商業関係の施設整備が進むと思うが、近くの商店にも声をかけていただき、共に繁栄できるようにしていただきたい。 ・資料1「各種調査結果の概要」に関する質問はあるか。 ・消費者アンケート調査結果において、「自由意見」や「市内のおすすめのお店」の回答の中で、特徴的なものがあれば教えてほしい。
委員	
委員長	
副委員長	

(1) アンケート調査の結果について (基礎調査報告書のポイント)	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「自由意見」の特徴的な回答は、以前、市の取組として実施した「狛江市プレミアム付商品券『こまちケ』」の発行を、今後も実施してほしいといった意見や、「市内には隠れた名店が多いので、情報発信を強化してほしい」といった市の取組に関する意見があった。また、「キャッシュレス決済ができる店舗を増やしてほしい」や「子ども連れでも入りやすいお店がほしい」、「ドライブスルーのように自転車に乗ったままでも購入できるようなお店がほしい」といった店舗の機能面に関する要望や、「安価なスーパーマーケットがほしい」や「パン屋がほしい」、「大型駐車場があるショッピングモールがほしい」といった具体的な意見もあった。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「市内のおすすめのお店」の結果について、今後、どのように活用していくのか。複数回答があった店は人気店であり人が集まることが予想されるため、例えば、市内地区に店舗位置をプロットし、市内消費の拡大や商業集積を検討する資料とすれば、有効に活用できるように思う。
委員長 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・検討課題として、事務局で検討いただきたい。 ・資料1「各種調査結果の概要」において、商業者が回答した「14) 狛江市の商業や商店街で進めるべきこと」と消費者が回答した「13) 狛江市の商業や商店街に期待すること」の上位結果が異なっており、今回のプラン策定において重要なポイントだと考えられる。 ・消費者アンケート調査結果において、「大型商業店舗がほしい」といった意見を「大型商業店舗の誘致」と捉えるのではなく、「限られたエリアで事が足りる商業環境づくり」と読み解く方が良いと思われる。また、そのような商業環境づくりは、「働く人に便利な買い物環境づくり」に繋がると考えられる。 ・消費者アンケート調査結果をみると、市民はスーパーマーケットやコンビニエンスストア、ドラッグストアで事が足りる生活に慣れており、市内の買い物環境に不満がないように感じられた。しかし、「市内のおすすめのお店」で様々な個店名が挙げられたことから、個性的なお店にも来店する傾向があると考えられる。今回の消費者アンケート調査結果から、今後、いかに特徴的な店舗を増やせるかが重要なポイントであると考えられる。 ・商業者アンケート調査結果からは、半分以上の事業者が廃業を検討している状況であり、商店会調査結果からは、商店会活動の意欲が低下しているように感じられた。このような結果をふまえ、今回策定するプランにおいて、どのように新しい事業者を取り入れていくか、どのように事業スペースを確保していくかが重要であると考えられる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1「各種調査結果の概要」について、商業者アンケート調査の対象者が市内所在の事業者を無作為で抽出しているため、「1) 事業概要」の回答業種を市内の産業構造と断定しない方が良いのではないかと。 ・商業者アンケート調査の「8) 今後の経営方針」では、「自分の代で廃業を検討」と「わからない」は、分けて記載した方が良いと思われる。

(1) アンケート調査の結果について (基礎調査報告書のポイント)	
発言者	会議内容
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者アンケート調査では、狛江市創業スクール受講年度により回答結果が異なると思われるので、受講年度を軸としたクロス集計を行った方が良いと思われる。 ・ 消費者アンケート調査では、市内商店街を利用する人としいない人で回答結果が異なると思われるため、市内商店街利用を軸としたクロス集計を行った方が良いと思われる。

(2) 狛江市後期基本計画 (案) について	
発言者	会議内容
事務局	◆資料説明：【資料2】第4次基本構想・後期基本計画 (案)
委員長	・ 資料2「第4次基本構想・後期基本計画 (案)」に関する意見や質問はあるか。
委員	= 特になし =

(3) (仮称) 狛江市商業振興プラン2025の策定にむけて (案)	
発言者	会議内容
事務局	◆資料説明：【資料3】(仮称) 狛江市商業振興プラン2025策定のポイント
委員長	◆資料説明：【資料4】基本方針・施策の検討シート
事務局 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3「(仮称) 狛江市商業振興プラン2025策定のポイント」において、計画課題と基本方針は1対1で対応しているのか。 ・ 対応している。 ・ 計画課題の1から4は、今回の各種調査結果と「第4次基本構想・後期基本計画 (案)」の商工業の振興に記載している「目指すまちの姿」とのギャップを捉えたものか。「第4次基本構想・後期基本計画 (案)」と今回策定するプランとの関係性を教えてほしい。
事務局 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料3「(仮称) 狛江市商業振興プラン2025策定のポイント」の課題は、「第4次基本構想・後期基本計画 (案)」における商工業の振興の目指す姿をふまえつつ、これまでの委員会での意見や各種調査結果から見えた課題を入れたものである。市内事業者や創業者、体制づくり、情報といった分野別に課題を整理し、計画課題 (案) として提示させていただいた。 ・ 「計画課題1から4を達成すると、このような状況になる」というのが基本理念になると思っている。資料3「(仮称) 狛江市商業振興プラン2025策定のポイント」に記載されている基本理念 (案) 「未来に続く 活気と

(3) (仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 の策定にむけて (案)	
発言者	会議内容
事務局	にぎわいのあるまち こまえ」の「活気とにぎわいのあるまち」とは、市ではどのような状態を考えているのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 「個々の商店が元気であること」だけでなく「市内外から狛江に人が集まること」も「活気」と捉えており、現時点では、そのような状態を「活気とにぎわいのあるまち」と考えている。 「第4次基本構想・後期基本計画(案)」では、バックキャストिंगの手法がとられており、まず目指す目標を描き、それを実現するための課題と方向性を定めている。今回策定するプランにおいても、同様の手法を用いた方が良いのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 「活気」や「にぎわい」は数値化しにくいですが、次のプランを策定する際、今回の調査結果から次回調査結果の数値が上がっていれば「活気」や「にぎわい」が創出されたと判断できる。そのため、今回実施した各種調査の重要項目をKPI(重要業績評価指標)として設定し、少しでも数値が上がるような施策の展開をしてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 資料3「(仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 策定のポイント」の計画課題1から4は完璧であるが、具体的に何を実施するかが重要である。具体的な取組内容は、誰が検討していくのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な取組内容は庁内関係各課が検討し、毎年予算を立て事業化する流れである。
事務局 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 本委員会ではグランドデザインのような方向性を設定し、具体的な取組内容は行政が検討し事業化する、といったことか。 そうである。 毎年取組を実施していく上でも、目指す具体的なイメージがあることは大事だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 資料3「(仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 策定のポイント」で記載されている基本方針は、現在の問題点から設定しているように感じる。問題点や課題は無限に出てくると思うので、基本方針の設定にあたっては、5年後の目標イメージや狛江の強みを活かす視点を取り入れても良いと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 市内将来人口が今後も増加傾向であることは、市の強みの1つである。 市内の総人口は、令和2年の約85,000人をピークに、現在は約82,000人と微減傾向である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 資料3「(仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 策定のポイント」で提示した将来人口推計は、令和2年国勢調査の結果を基に、国立社会保障・人口問題研究所が推計した数字である。令和2年以降、市総人口は微減しているため、後期基本計画(案)において将来人口推計の見直し作業を進めており、今回策定するプランでは後期基本計画(案)と整合を図った数値を記載する予定である。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 今回策定するプランの課題では、伸ばすべき点と改善する点を述べる必要

(3) (仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 の策定にむけて (案)	
発言者	会議内容
事務局	があると思うので、事務局においては再度検討していただきたい。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 市内 15 商店会では、商店会活動をするにあたり、市から支援を受けたいと思っているのか。 東京都や市独自の補助金メニューは多くあり、各商店会に周知はしているが、あまり活用されていない。また、補助金を活用する商店会は、いつも同じ商店会となっている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 市の予算は限られているため、今回策定するプランでは、主体的に活動している商店会を支援する形でも良いと思う。基本方針 2 では、「各商店街の特徴や将来の方向性をふまえた取組の検討」ではなく、「意欲のある商店街の特徴や将来の方向性をふまえた取組の検討」に修正してはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 事業者アンケート調査において、商店会の加入状況を軸としたクロス集計を行うことで、業種別の加入状況や加入する理由・しない理由の違い等も分析できるため、商店会の支援策が検討しやすいのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事業継承の支援では、「経営継続の意思がある事業者への支援」と「現時点では経営方針は不明の事業者への支援」を検討してはどうか。 市内商店会の活動が低下している中で、各商店会が合併する可能性はあるのか。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 複数の商店会が合同で実施するイベントを促すなど、行政から商店会合併に向けたしかけを検討してはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針 3 は、バックキャストイング手法を用いて、目指す姿を設定した方がイメージしやすいように思う。 基本方針 4 に関して、どのような情報発信があれば良いのか。 情報を受け取る側として、自分から取りに行く情報が良いのか、SNS のように無意識で入ってくる情報が良いのか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> インターネットで検索すると、すぐに情報が出てくるような情報発信が良いと思う。また、常に情報が更新されていることも重要である。情報を受け取る人にもよるが、SNS のように無意識で入ってくる情報は、瞬時に重要かどうか判断できないこともあるため、自分で取りに行く情報が良いように思う。紙媒体での情報発信は、すぐに捨てられる可能性もある。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって情報を発信することも良いと思う。また、行政以外の各主体が発信する情報を、行政がつなぐ取組も検討してはどうか。 情報発信では情報弱者への対応も重要なため、情報弱者に関する取組も検討してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 創業支援では、創業者が事業を行える物件が確保できるかが重要である。また、物件確保が困難な場合は、ほかの方法を検討しなければならない。リアルに事業を実施できる、出店できる場所をつくることが重要である。 半田市の事例として、先週、コワーキングスペースやカフェ、レンタルオフィスが併設された施設を開設した。当初、レンタルオフィスの需要は低

(3) (仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 の策定にむけて (案)	
発言者	会議内容
副委員長	<p>いと考えられていたが、現在、足りない状況となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前、市の総人口からすると市内のコワーキングスペースは足りている、といった記事を読んだことがある。しかし、現在、貸会議室が足りないといった声をよく聞く。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・半田市では、創業支援として「チャレンジボックス」のような場所で気軽に事業を始めてもらい、セミナーなどの受講により創業意欲や知識等を高めてもらい、その後レンタルブースなどで事業を続け、中心市街地の低未利用土地に誘導していく、といった事業に取り組んでいる。 ・現在、市内のコワーキングスペースに創業したばかりの方がいるのであれば、そこを拠点として、次の一步を踏み出せる場所の確保を行政支援として検討してはどうか。なお、場所の確保では、市内に点在すると効果が薄まるので、可能であれば密なエリアで取組を展開する方が良い。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前プランでは、事業スペースの確保策として空き店舗を活用する、といった考え方であった。しかし、現在、市内には空き店舗がかなり少ない状況であるため、何か良い取組案はないか。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・市内には空家があり、不動産業として空家を取り扱うことはあるが、利用がないため空家となっている。その空家物件をコワーキングスペースとして貸し出せるように、空家の情報共有や物件所有者と利用希望者のマッチングができれば良いのではないかと。新たに施設を整備するより、より早く対応できるように思う。 ・最近の事例として、空家でコミュニティースペース兼喫茶店をはじめようとした方がいたが、空家の所有者に断られたケースがあった。 ・行政やまちづくり会社が仲介として入れれば、空家所有者も安心して貸すのではないかと。または、まちづくり会社がサブリースとして空家を借り、創業者に利用してもらうことも良いと思う。 ・創業環境づくりでは、人が集まって何かをやっている「動き」が見えることが大切である。現在、市内にはガラス張りのお洒落な建物で、人が集まって何かをやっているインキュベーション的な場所はない状況である。空家改修で不可能であれば、そういったインキュベーション施設を新たに整備することも良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体の多摩川沿いでは、にお洒落なガラス張りの連続した建物はないと思うので、多摩川沿いで取組を展開することも良いように思う。小田急小田原線が整備されているので、夜、電車車内から、暗い河原に明かりが連続して灯っている景観が見えると「狛江市かっこいい!」と思われるのではないかと。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩川沿いには、川田旅館がある。あのような建物が川沿いに広がれば良いように感じる。 ・商業振興においては、まちづくり会社ともう少し連携ができると良いと思

(3) (仮称) 狛江市商業振興プラン 2025 の策定にむけて (案)	
発言者	会議内容
	うので、検討を進めていただきたい。

(4) 新プランの地域別構想の方針について	
発言者	会議内容
事務局	◆資料説明：【資料5】地域別構想について ◆資料説明：【資料6】参考資料
事務局	・各種調査結果より、前プランで設定した市内5地区の商業に関する特徴は見られた。しかし、今回策定するプランでは、エリア分けをするのではなく、市内各商店や商店会が考えている将来の方向性をふまえた個別の支援策を検討し、地域別構想は策定しないことを提案したい。
委員長 委員	・商工会の立場から、地域別構想の策定についてどう思うか。 ・商工会では、エリア分けはせず市全域を1つとして捉え支援を進めているため、今回策定するプランでも地域別構想は策定しなくて良いと考える。
委員長	・それでは、今回策定するプランでは地域別構想は策定しないこととする。
委員	= 異議なし =

(5) スケジュールについて	
発言者	会議内容

(5) スケジュールについて	
発言者	会 議 内 容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日の委員会における各委員の意見をふまえ、次回委員会では計画素案を提示する予定である。なお、本日の委員会に関する意見があれば、11月25日（月）までに事務局に連絡をいただきたい。 ・ 次回委員会の日程は、12月17日（火）を予定している。 ・ 今後のスケジュールは、素案を策定し、パブリックコメントの実施や市民説明会を開催し市民の皆様から意見をいただいた後、令和7年3月に策定委員会を開催、その後答申といった流れを考えている。
委員	<p>= 質問・異議なし =</p> <p style="text-align: right;">以上</p>